

京交山岳部報

290

'76 12月号

〔第1107回例会〕

虎御前山と臥龍山 がりゅうさん (R)

日 時 12月6日(月) 6.45京都駅2番ホーム集合
コ ー ス 京都-米原-虎姫…虎御前山-長浜-石田…臥龍山-長浜-帰洛
担 当 者 横大路 田中忠久(TEL 601-9391) 申込み〆切4日(土)
備 考 山岳部例会としては適当な山(標高312m)ではないが、辰歳を送るに
当り、あえて虎と竜を選びました。 1/2万図「虎御前山」「長浜」

〔第1108回例会〕

比 良

堂 満 岳 (T)

日 時 12月16日(木) 7.00京都駅2番ホーム集合
コ ー ス 京都-比良-イン谷口…堂満東稜道…堂満岳…金鷲峠…正面谷-比良駅
担 当 者 横大路 大西純一(TEL 601-9391) 申込み〆切13日(月)
備 考 帰洛後、夜は忘年会の予定です。

〔第1109回例会〕

南 紀

保 色 山

日 時 12月18日(土)~19日(日) PM7.00京都東インター集合
コ ー ス 京都-松坂-尾鷲(泊)-谷ノ内…保色山…往路帰京
担 当 者 本局 宮後正樹(TEL 251) 打合せ 集会当日
備 考 新官山の会と合同で登ります。 1/5万図「尾鷲」「木本」

〔第1110回例会〕

納山祭・北 山

日 時 12月25日(土)~26日(日)
担 当 者 横大路 岡本義弘(TEL 601-2076) 打合せ 集会当日

【訂正】 第1106回例会 西谷山△311は △881の誤まりにつき訂正します。

。 今 月 の 集 会 。

- 日 時 12月15日(水) 午後7時から 下鴨寮
議 題 1. (№1105~1107) 部員動静 報告
2. 1月例会、集会(九条第一)について
3. 南紀山行、納山祭等の打合せ
4. 連絡事項 その他 一当番 烏丸支部-

リ ー ダ ー 会

12月3日(金) 徳野宅



自 動 販 売 機

宮 後 正 樹

自動販売機は直接の販売員を要しない販売法の一つとして、特に人件費の高いアメリカを中心に近年急速に発達したもので、日本でも昭和の初期から利用されていたが、本格的には戦後アメリカからの輸入が契機となって今や非常に多くの機種が国産され街頭にも目立つようになった。

自動販売機の効果は、販売経費の節減のほかに広告宣伝に重点をおいたヘデな美しいものや、人前では買い難い商品を気安く、気がねなしに買える心理的なものを狙った衛生具や薬品、そのほかピンク雑誌や写真なども出るものがある。それだけに学生や未成年者にとっては教育上思わしくないものもあるようである。

また商店の営業時間が短い欧米では時間外や休日には専ら自動販売機に頼らざるを得ないこともあるが、日本でもその傾向が顕著になって来ている。特に主要国道や高速道路沿いには24時間営業としてオートスナックコーナーが設けられている。なるほど人手を要しない自動販売機ならば24時間営業も可能である。店の閉った夜間でも自由に買えるし、夏の暑い時には、よく冷えたジュースなど有難い。また冬は暖かいコーヒーやめん類など、身体も温まって利用価値は大いに高まっている。セルフサービスで誰にでも手軽に、待たずに好みのものを選択でき、近代感覚にマッチしたものとして大いに受けているようである。

種類も多くなって物品の販売では、コーヒー、コーラ、ジュースのほか酒、ビールなどの飲物からアラレ、ピーナッツ、スルメなどのおつまみまで出てくるし、弁当、うどん、カップヌードル、

パンなど腹ごしらえからキャンディ、チューインガム、チョコレートといったおやつにも事欠かない。その他、週刊誌、アクセサリ、たばこにガスライター、電池に至るまで極めて多種多様である。サービスの提供では、映画、ジュークボックス、靴みがき、あんま機など一定の仕事を代行してくれるものもある。さらに交通機関の自動改札や定期券、普通券発売機、食券、郵便切手やはがき発売機といったものも広くこの範疇に含まれる。

こうして見てみると実に便利で我々山党にとっても大いに利用できるものもあり、殊に店のあいていない早朝、深夜の出発や高速道路の利用時などその恩恵に浴することもしばしばである。

ところが機械そのものの仕様をみていると効率販売とか、スペースを取らない大量販売だとか、安全・経済設計だとか、引きたつ電照ウインドウなど、どうも販売者側に立った配慮ばかりに重点がおかれており購買者側に立った配慮が少ないのは面白くない。先日もあるサービスエリアで早朝温かいミソ汁をと100円也を入れたが機械の故障かどこを押してもウーともスーとも云わずおまけに返金レバーまで故障でまんまと100円也の損害を蒙ったがまさに取られ損である。

もう一つ購買者側にとっては飲物や食品の調理サービスなど特に衛生的に商品が入手できるという効果があるわけだが、これまた販売しっ放してゴミ処理の全くないところや、切角ゴミ箱が備えつけられていてもゴミ溜めのように溢れていて却って不衛生になっているのを見かける。設置場所が人目に立つ人の密集する場所だけにアフターケアも十分に考えていただき愛される親しみのある自動販売機になってほしいと願うものである。

第1103回例会

紅葉の北山

八ヶ峰

三橋 勉

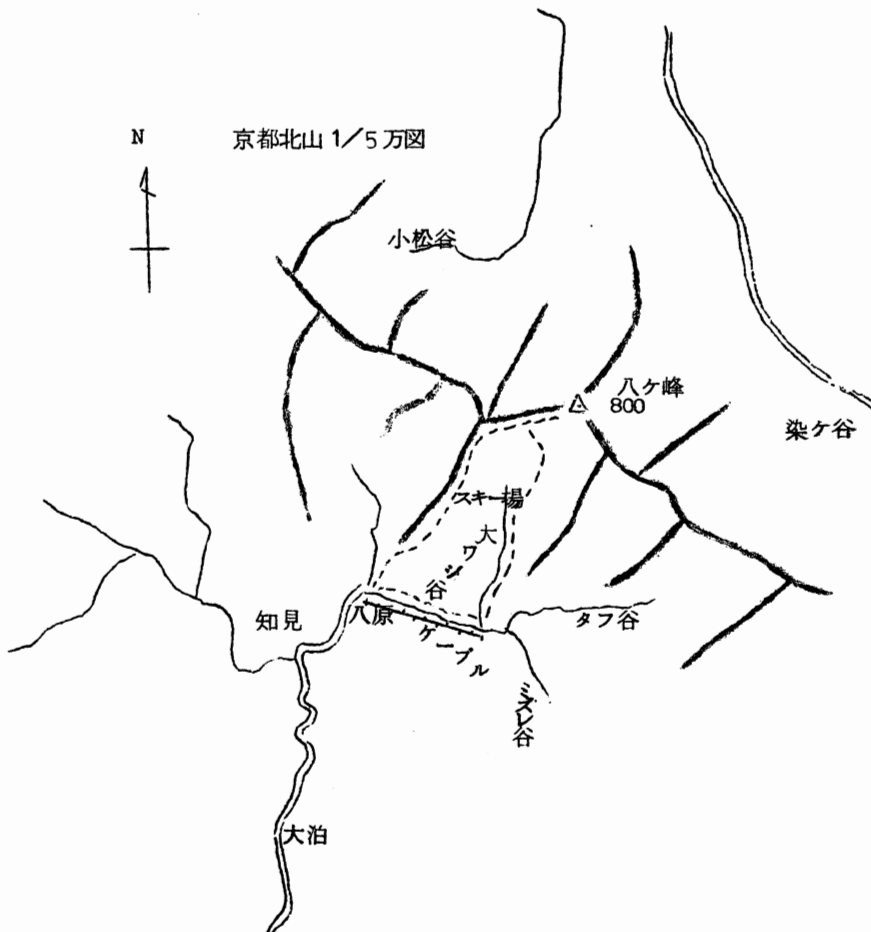
土曜日の午後出発という山行は昨年のお月見登山以来である。お天気がくもり空で少々気になったが、笠トンネルを越えると皆が待っていてくれた。

八丁林道経由で行く予定であったが、道路状況がわからないので安掛まわりで出発することになった。鷲見君の車を先頭に渡ちゃん、宮さん、山村さんそして小生と5台の車で紅葉の美しい周山街道を北へ向って走っていくと、いつの間にやら前3台の車はどこかえ消えてしまい山村さんと小生の車だけになってしまった。安掛の赤い橋を越えた所で小憩後、無事須後の山ノ家に到着。しばらくして武田君も到着し、これで全員集合したわけである。

夕食から6時からというので全員散歩に出る。子供達が先頭でトロッコの鉄橋を渡っていったのであわてゝあとを追いかける。しばらく進むと日が暮れてきたので引返すことにした。鉄橋の上から下流の方を眺めると夕暮れの色とりどりの山々が幻想的で美しかった。

翌朝6時起床、7時朝食のあと8時すぎに山の家を出発して知見口で缶ジュース等を買おうと思ったが、日曜日の朝ということで店がしまっていて、あちこちさがしてやっと買うことが出来た。

ケーブルで材木をおろしている所で車は終点となり、全員準備体操をして出発することにする。これで3回目という山村さんの案内で、小さな子供達から順に元気よく1列になって歩きだした。尾根コースということで、ジグザグの急な登りとなり、前の方の子供達が折返し登りながらこちらをみて手をふっている。下をみるとだんだんと今登ってきた部落が小さくなってくる。



5合目で小憩してから少し進むとスキー場らしい開けたところに出る。こんな上までスキーの板をかついで登って来なくては滑れないのかと思うと最近のリフトの発達したスキー場と比べると、

えらい違いだ。スキー場跡をすぎると尾根道となり、右側に送電線のある谷がみえた。丁度伐採して木がないので見透しがよい。春にくるとわらびか上っていきそうなよい斜面であった。

高い送電線が尾根をまたいでいる下をくぐり少し進むと笹藪となり、やがて頂上に出た。あいにくガスで日本海は見えなかったが、福井県側の部落が下の方にみえた。

三角点のある小高い丘の上で恒例の万才を三唱し、お昼には少し早かったが食事にする。頂上にいると少し寒くなってきたので、子供等とオシクラマンジュウをする。

帰りは谷コースを降りようということになり北東に2m巾の広い道があるのでそちらへ降りることにする。よい道なのでどんどん行くとストップということになり、北の方向へ行っていることに気が引き帰すことになった。やがて降りた道を又登り直さなければならないのでガッカリする。

やっとこさ、もときた頂上に戻った時には汗をかいていたので缶ジュースがうまかった。これでこの山は？回登ったことになる。

今度は間違わないようにと最初のコースを下り送電線のところから左へ折れて谷コースをとることにする。このコースは山村さんが以前降りておられるというので安心する。急な下りを降りると谷を渡って向い側の尾根へと続いている。山の斜面をトラバースぎみに進むと、往に歩いた尾根が向い側にみえた。上ったり下ったりの道を速まきに進むと秋の山々が美しく色づいてみえた。

送電線の電柱の下を過ぎたあたりから、やっと谷筋に降りることが出来た。そこからしばらく進むとケーブルで材木を積んでいる所に出た。それからケーブル線にそって降りるとあたりが開けてきてたんぼがあり、柳の木が葉を落して実だけつけていた。ケーブルの終点すなわち車の駐車地点の所に無事到着して本日の楽しい山行は終わった。

【コース・タイム】 11月6日 14.50 みぶー安掛ー田歌ー16.50 須後(青少年山の家)泊
7日 8.15 山の家ー知見口ー9.00～9.35 八原…10.05～10.15
5合目…11.30 八ヶ峰△800m 12.20 下山…15.00 八原解散

総 門 山

宮 後 正 樹

三角測量の基準点である以上、その三角点標石はより高くより見晴らしの良い地点に設置されるのが常態であろう。しかしながら測量であるからには相対的なものであり必ずしも高いとか見晴らしがよいというだけでは決まらない場合もある。相対的な地点との関係から見晴らしよりもむしろ見透しが肝要なのであろう。

今春4月伊勢の国、龍頭山へ登られた伊藤さんがその東にある総門山へも登るべく地元宮川村の

役場へ照会されたところ、地元では△948.6mを総門山と呼んでいるとのこと。ところが国土地理院の地形図には2万5千分の1図も5万分の1図もともにこの△948.6mの北にある△704.0mに総門山と名前があり約250mも高い△948.6mには山名がないのである。さらに20万分の1図には山名こそ入っていないが歴として△マークがあり704と標高が入っている。20万分の1図に△マークがある以上これがまた二等三角点なのである。加えて面白くないのは龍頭山である。三角点もない独標でありながら20万分の1図や道路マップにも総門山でなくこの龍頭山の名が堂々と入っているのである。

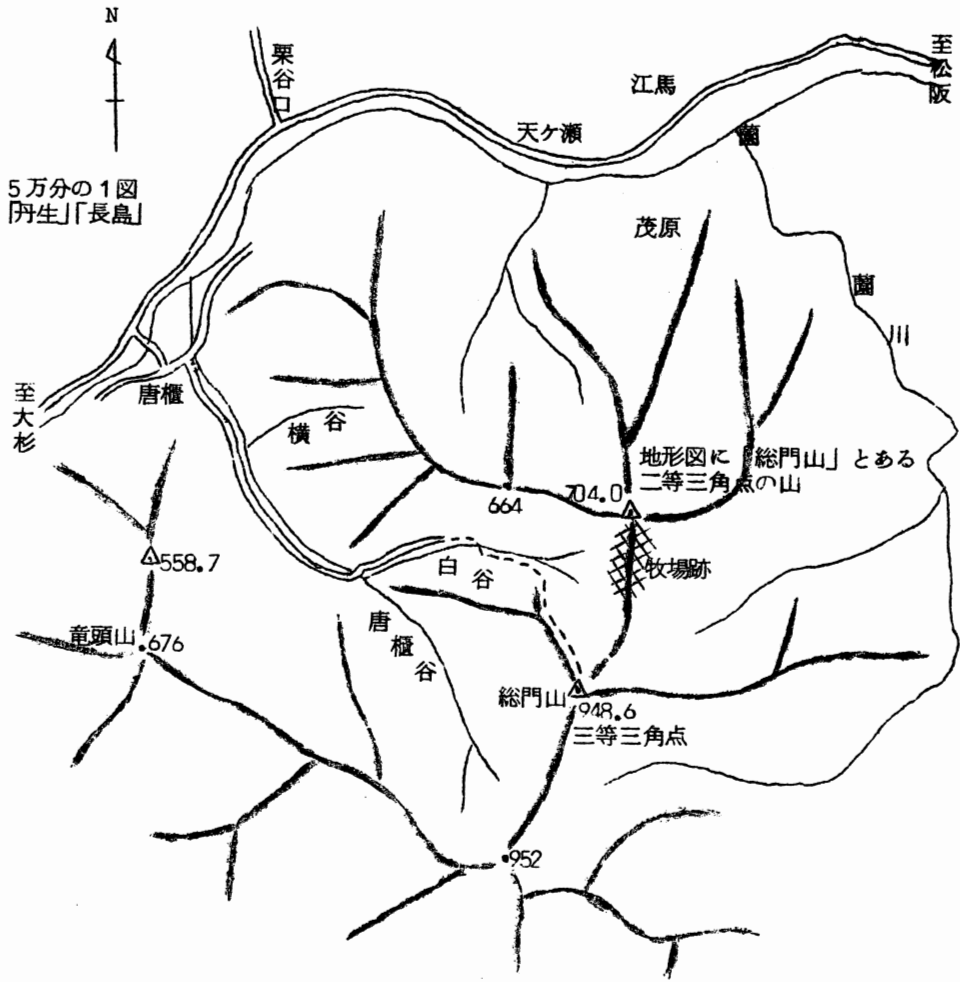
しかし山容からしても△704mは東西に平らかな台地状にある僅かな隆起に過ぎずどうみても地元でいう△948mの方が堂々として立派であり総門山の名にふさわしく当然に二等が設置されて不思議でないのに図上では全く反対になっている。陸地測量部の基準点設置経緯については定かではないが、何かの間違いではないか、若しかすれば948mに二等三角点が据っているのではないかと一抔の期待と希望をもっての山行だった。

名神東インターを真暗な早朝5時に乗り栗東から1号線を鈴鹿峠にかかる頃から雨となるか、こんな雨でくじけてはおられない。亀山から東名阪ハイウエーに入りさらに伊勢道路を走ってサービスエリア安濃に着いた時にはドシャ降りとなる。アカダシにつられて自動発売機のミン汁で朝食をと100円也を入れたが故障のためどこを押しても出てこない。おまけに返金レバーまで故障でマンマと100円也をイカれる。ようやく140円のラーメンを出して朝食をとる。

ここで約束してあった松阪の山口政一氏に伊藤氏が電話をかけられたが、「この雨では…。とにかくこれからお邪魔します。」ということで終点久居に向ったがもうワイパーも利かないほどの風雨である。山口ご夫妻に迎えられて応接間に通された頃にはすっかり出バナをくじかれ意気消沈。目的を変更してアレコレと伊勢の山々が話題に上ったが、そのうちあれだけ激しかった雨が小止みになり雲が切れて来たのでとりあえず三橋君も初めてでもあり堀坂山、観音山、矢頭山に決めて山口氏にご案内をお願いすることとする。

途中大西老を訪ねると元気な姿で出迎えていただき「同じ濡れるのなら総門山にしなさい。朝雨女の腕まくりだよ。」と大いにハッパをかけられようやく気合を入れ直しての再出発となる。尾鷲へのルート42号を獅子ヶ岳、七洞岳、浅間岳と眺めながら大台町で官川沿いに西進する。やがて目指す△948mの総門山が正しく立派な姿であられ、△704mはその北にある単なる台地に見える。唐櫃橋を渡り中村さん宅で山を確かめたがやはりあの高いのが総門山だという。意を強くして勇躍カラト谷林道をつめる。

横谷を送りカラト谷を新しい橋で右岸に渡り林道はさらに白谷へと延びている。林道終点にはトラックやコンクリートミキサーカーが止っており林道工事の人夫の人が数人火を囲んで休んでおり登路や車の駐場所など親切に教えていただく。林道終点から白谷を歩きさらに林道延長工事用の伐り開きを進み伊藤さんの高度計が350mを指す地点で左岸へ渡る。明け方からの激しい降雨で相当に増水しておりはまっては大変である。慎重に渡るとさらに確かな踏跡があり助かる。昼なお暗い杉の植林帯を急登し標高500m地点で滝状に増水した小谷を横切ると林間に白谷を隔てて牧場跡



という台地が見え白谷のツメはコルから直ぐに白い滝となって落ちていた。なおも植林帯の斜面を登ると急に明るくなり一面に枝打ちをした櫛林に出る。ふり返ると遠く同ヶ岳が黒いピラミダルな黒い頭を暗雲にもたげている。

山口さんから伊勢の赤福もちをいただきしばし小憩ののち尾根上に登る。32年10月設置の水源地かん養林と書いた白い農林省の標識柱が立っていた。植林帯と灌木帯との境に僅かな切り開きがありグングン高度を稼ぐ。冷たい風が横なぐりに西からふきつけてくる。急な峻上を40分、遂に頂上を極める。灌木に囲まれ落葉を敷きつめた素晴らしい山頂である。三角点を撫でるようにして等級を確かめたが石の大きさと三等の文字は間違いなかった。

ここで思いがけないうれしい歓迎を受けたのである。真白いペンキを塗った新しい標識に「総門山 948 m」とあり、さらに京都交通山岳部・新宮山の会と朱書されているのにビックリした。これはまさに新宮山の会玉岡憲明さんらの茶目っ気たっぷりの、にくいほどの演出と歓迎に違いなかった。

ビニール袋に納めた伝言が押ピンで止めてあった。さらに驚いたのはその下に木の枝を組んで南紀の銘酒、原酒、太平洋がハッポースチロールにくるんで置かれてあり心の凝った有難い歓迎に4人は感涙の一瞬であった。

萬感をこめ萬歳を三唱し銘酒をいただく。三角点を囲んでの楽しい小宴は立派な焚火も出来て遂に2時間15分の長居をさせてもらう。玉岡さんらのご厚意に感謝しながら去り難い山頂を後にする。

玉岡さんら一行のメッセージ(原文のまま)

敬 迎 京交山岳部総門山山行御一行様

折角のお招きを頂戴しながら、他の行事の故に お伴が出来なかったのを残念に存じます。いささかなりとも御交誼に酬いたいものと 本日、露払いに入山いたしました次第

伊勢の大兄 山口政一様

山城の大兄 伊藤潤治様

並に 宮後正樹様

その他 皆々様 来年と申しまでも あと二ヶ月余の 南紀 ^{お盆}大蛇降にての拝顔を楽しみにいたしております。

ヤッホー

文化の日

新宮山の会 玉岡 憲明

樋口 義也

南紀新宮の粗酒を記念におくみ下さい。

これより北総門山を経て下山 10:30

巨樹の上からの大観良し

三等三角点ではあるが名もあらわさない奥ゆかしいこの総門山にゾッコン惚れ込んで往路を下山松阪で山口氏と分れて帰京した。

〔同行者〕 山口政一氏、伊藤潤治、三橋 勉

〔コース・タイム〕 11月14日(日)

5.00	東インター発	11.40 ~ 12.00	小憩
6.10 ~ 7.25	安濃	12.05	尾根上
8.00 ~ 9.00	山口氏宅	12.45 ~ 15.00	総門山三等三角点
10.30 ~ 10.45	カラト谷林道終点	16.30 ~ 16.45	林道終点
10.55	白谷を左岸へ渡る	19.00	鈴鹿峠
11.20	小谷を渡る	21.00	帰京

例 会 報 告

例会№	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
1101	比良 八淵ノ滝	10月28日 11月10日	雨 晴	横大路 大西 純一 小林達雄、田中忠久 横大路 大西 純一	井上 国雄 進藤 義治 小林 達雄	予定通り6時に出発して、黒谷まで行ったが、風雨激しく引返して紅葉パラダイスで休養す。 黒谷…八淵ノ滝…釈迦ヶ岳…寒風峠…北小松と予定のコースを快調のピッチで歩く。しかし？人の山歩きは、ちょっとさみしかった。
1102	湖北 横山岳	10月31日		本局 大槻 雅弘		担当者の都合悪く、11/21に延期。(次号報告)
1103	ファミリー 登山 紅葉の北山 八ヶ峰	11月 6日 ～7日	曇 後 晴	九条第二 鷺見 敏一 本局 大槻 雅弘	山村敏郎氏 壬生 そと	新部長歓迎登山以来3年半ぶりという芦生の山の家に泊る。幼児から名誉部員まで総勢22名が晩秋の色とりどりの美しい山々を見つめながら、元気に歩いてきました。 (別稿報告)
1104	伊勢 総門山	11月14日	雨 後 晴	本局 官後 正樹 松坂山岳会、	伊藤潤治氏 三橋 勉 山口政一氏	早朝東インターを出発したが、三重県に入ると激しい雨となり、松坂の山口政一氏宅で予定を変更して別の山を行こうと思ったが、大西老にハッパをかけられ、予定どおり総門山を登ってきた。 (詳細別稿報告)

部 員 動 静

(山行)

目的地	月 日	天候	参加者	事 記
大文字山 第14回	11月 8日	晴	畑 照人	月日の経つのは早いもんで、昨日は立冬であったが割合暖かい日で引続き今日も快晴となる。約20日間のブランク、最も時候の良い時に殺生なこと。三女の出産の為出られなかったがもうとてもジッとしてられない。思い切って行くことにする。ヤッパリ山歩きは楽しいもんだ。アベックが弁当持参で来ているし、スポーツクラブの人らしいグループも来ている。紅葉にはまだ少し早いようだ。

雑 報

▲ 11月集会報告

11月19日(金) 下鴨寮

出席者 名誉部員 伊藤潤治氏、山村敏郎氏
 本 局 宮後、大槻、武田、三橋
 梅 津 吉田
 横大路 田中

以上 8名

研究会「わかんの付け方」を教習後、中村維源氏撮影の8%「集中登山、曇仙」をみせていただいた。

▲ 部費受領

51年前後期 本局 若山 裕考、大沢 泰、猪飼康夫、岡田茂久、
 長谷川雅也
 三 哲 横山義美、伊地知文男、林 茂男、村野忠男
 市役所 井上修一、山崎文夫
 高 野 宮田 貢
 52年 市役所 井上修一、山崎文夫
 一般寄附金 三谷忠男 1,000円

みんな知っている

古くからの厚生会特約店

野球用具 硬式・軟式専門店

ゴルフ初心者向クラブ沢山

あります 特に偶数クラブOK
以上の商品なんでもOK
購買証御利用下さい

月賦可 電話にて御注文下さい

KK西沢スポーツ

中・釜座御池下
(221) 5739



真の専門店として

好日山荘は前進しております

山とスキー用具の

ことなら御まかせ下さい

確信ある用具を

確信ある価格で……

好日山荘



河原町六角下ル東入
TEL 241-1731

京都最高のアクアラング用品専門店

- ウェットスーツ製造直売
- 潜水器具特別割引販売
- 現役プロダイバーと全日本潜水連盟公認指導員による
安全確実な潜水指導 (毎週木曜 夜7時ヨリ)

ダイビングプロショップ
エリート

スキューバプロ (米)

京都総代理店

スキューバプロ

京都総発売元

AMF ポイト (米)

京都総代理店

テクニサブ (伊)

京都総代理店

603 京都市北区堀川通北大路上ル東側 TEL 075 (492) 8450

昭和51年12月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局 内 京交山岳部

HIKE & CAMP

御来店ありがとうございます
山とスキー
そして海の レジャー スポーツ ショップ



中・二条通河原町西 TEL 231-1208

帆布・瀝布
テント・シート
雨合羽


木村工業有限会社
京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331(代)

名古屋営業所
名古屋市西区児玉町7-30
TEL 521-7541代~4

HoReiKe まかせて下さい...ネ
KYOTO 山とスキー
のことなら.....

☆在庫豊富にとり揃えています
☆山の道具"セヒ"御相談下さい
☆友の会会員募集中(毎月1000円)

山とスキーの専門店



河原町店 上・河原町 通丸太町東入
烏丸店 中・烏丸丸太町南下ル東側

テニス用品
スキー用品
山用品

交通局の皆さん
とりあえず 京菱へ
満足のいくようにします

京菱運動具店
下・大宮松原上ル
TEL 801-1331

PRO SHOP
山とスキー **チドル**

輸入品とオリジナルの店

AM 12.00 ~ PM 9.00 三条御幸町下
定休日 月曜日(221)6186

山を美しく //

山のごみは

各自持って帰りましょう